

# 救急医療に係る情報システムの比較

名称	救急医療情報システム		地域医療連携システム(仮称) (平成21年度中に稼動予定)
	従来版	平成21年度改修予定版	
種別	いわゆる『救急端末』(専用回線)		インターネット回線
システムの役割	救急隊による医療機関選定、搬送連絡	救急隊による医療機関選定、搬送連絡 <b>救急告示医療機関全体での相互参照</b> ↓ ねらい { ・病院選定困難事案の改善 ・より迅速な医療機関への搬送 }	地域内医療機関情報の共有化 地域救急センター(仮称)の調整業務の円滑化
閲覧可能な対象機関	東京消防庁指令室、救急隊	東京消防庁指令室、救急隊、 <b>各救急告示医療機関</b>	東京消防庁指令室、各救急告示医療機関
担当	東京消防庁	東京消防庁	東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課
取得できる情報	診療の可否 手術の可否 男女収容の可否 空床数	診療の可否 手術の可否 男女収容の可否 空床数 変更なし	診療の可否 医師の配置状況 検査機器の有無等
特徴	救急隊はリアルタイムで上記の情報を取得できる。 各救急告示医療機関は自院のデータを入力するだけで、他医療機関の情報を閲覧することは <b>できない</b> 。	救急隊がリアルタイムで上記の情報を取得できる。 各救急告示医療機関相互で情報を閲覧することが <b>できる</b> 。	各救急告示医療機関が自院のデータを入力。 各圏域の地域救急センター(仮称)が患者受入調整を行なう際に活用。 地域の救急告示医療機関同士で情報の共有化を行なう。 救急隊は閲覧することができない。
備考	平成21年度改修においては、データベースの改修を行わず、「相互参照」の機能のみを追加予定。 <b>本格改修は平成26年度の予定。(基本設計は平成24年度)</b>		システムの詳細な内容や実施スケジュールについては検討中。